



2023.10.4 [水] 13:30~17:10

申込締切 2023.10.3 [火] ~17:00

会場 京都大学 桂図書館2F [会場定員先着60名]
ZOOMウェビナー同時配信

お申込みは下記イベントページよりお願いいたします

<https://www.rac.t.kyoto-u.ac.jp/ja/news-events/events/ind-day2023megene>



Me Gene ジェネ

京都大学女性研究者産学連携

要事前申込

ネットワークイベント

参加費無料

Me Gender Network

Innovative measurement and various data analysis technologies

第1部
研究発表

革新的計測技術と各種データ解析技術 [エレクトロニクス、医療・ヘルスケア]

第2部
Geneトークラウンジ

キャリア形成に関するトピックス [女性の起業]

13:00 — 会場受付開始

13:30 — 開会挨拶 ● 立川 康人 (京都大学 大学院工学研究科長・教授)
[第1部: 研究発表]

13:40 — ● 栗山 怜子 (京都大学 大学院工学研究科 助教)

14:00 — ● 萬 菜穂子 (マツタ株式会社 技術研究所)

14:20 — ● 三浦 理紗子 (京都大学 大学院工学研究科 助教)

14:40 — ● 柴田 沙耶 (株式会社SCREENホールディングス
イノベーション推進室)

15:00 — 休憩

[第2部: Geneトークラウンジ]

15:10 — ● 羽生 祥子 (株式会社羽生プロ 代表取締役社長)

15:25 — ● 進藤 かおり (株式会社パソナグループ 常務執行役員)

15:40 — ● 意見交換会

16:20 — 閉会挨拶 ● 横峯 健彦 (京都大学 大学院工学研究科 副研究科長・
次世代学際院長・教授)

16:30 — 展示交流

17:10 — 閉会

主催

京都大学 学術研究展開センター、京都大学 大学院工学研究科

共催

関西イノベーションイニシアティブ (KSII)、(公財) 京都高度技術研究所、
京都大学 産官学連携本部

後援

(公財) 京都産業21、(独) 中小企業基盤整備機構 近畿本部、
バイオコミュニティ関西 (BiocK)、京都市

お問合せ

Meジェネ事務局 [京大オリジナル株式会社]

E-mail: kensyu@kyodai-original.co.jp

※京都大学 学術研究展開センター (KURA) より一部委託を受け、
本イベントの受付業務を代行しております。

KURA



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

発表概要

第1部 研究発表



光と分子運動を利用したマイクロな熱流体計測

栗山 怜子 (京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 助教)

近年、 μ -TAS(マイクロ化学分析システム)に代表されるように、工学・医療等の各分野で熱流体機器の小型化や高度化が進んでいます。このような機器を実現するには、微小空間における流れや熱・物質輸送を正確に計測・制御することが重要です。私たちは、光を利用することで微小空間に適用しやすい非接触な熱流体計測法の開発に取り組んできました。本講演では、流体中の分子の運動を光で捉えることによってマイクロな輸送現象を可視化する技術について紹介します。



ひと中心の車内音空間の実現に向けた取組み

萬 菜穂子 (マツダ株式会社 技術研究所 アシスタントマネージャー)

自動車業界は100年に一度の変革期と言われ、持続可能なモノづくりとひと中心の新たな価値づくりの両立が求められています。車内で聴こえる音の開発においてもカバーすべき領域は益々増えており、これまでの機械主体の機能開発から、ひとの感情や行動まで考慮した取組みに拡張しなければなりません。本発表では、“ひとの感じる静粛性”をよりよく表現するモデルの開発を例に、必要となる計測システムがどのように変わりつつあるかをご紹介します。



多糖ナノゲルによる光音響造影剤の開発

三浦 理紗子 (京都大学 大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻 助教)

我々は、疎水性近赤外蛍光色素(IR-820)を親水性多糖であるプルランに導入すると、水中で疎水性相互作用を駆動力に多糖ナノゲルを形成することを見出した。この多糖ナノゲルの光音響造影剤としての機能、標的部位の導入によるマクロファージ標的性、および、疎水性低分子である抗がん剤や免疫アジュバントとの複合化によるセラノスティクス医薬品への展開について紹介する。



個別化医療に向けた多重免疫染色解析技術の開発

柴田 沙耶 (株式会社 SCREENホールディングス イノベーション推進室)

同じ病気の患者さんでも、遺伝子やタンパク質の違いが治療効果に影響することが明らかになっており、患者さんそれぞれに最適な治療を行う個別化医療が注目されています。多重免疫染色解析は、1つの病理組織切片から多種のタンパク質を検出(可視化)し、画像化して細胞単位の計測と解析を行うものであり、個別化医療への貢献が期待されています。私たちは多重免疫染色について解析精度向上や取得情報拡大のための技術開発に取り組んでおり、本発表では一連の解析に使用する装置や技術についてご紹介します。

第2部 Genetークラウンジ

「キャリア形成に関するトピックス:女性の起業」



女性起業家を取り巻く最新状況と、“私の場合”

羽生 祥子
(株式会社羽生プロ 代表取締役社長)



女性にとって起業という選択

進藤 かおり
(株式会社パソナグループ 常務執行役員)